



日本農芸化学会2013年度大会 ランチョンセミナー

PCRによる遺伝子クローニング成功への道

日 時： 2013年 3月25日(月)12:30 ~ 13:20

会 場： 東北大学 川内北キャンパス B21会場（講義棟B201）

座 長： 北川 正成

（タカラバイオ株式会社 執行役員 バイオ研究所長）

演 者： 上森 隆司

（タカラバイオ株式会社 ドラゴンジェノミクスセンター 副センター長）

目的のDNAを任意のベクターに載せるクローニング操作は、遺伝子工学実験における基礎技術のひとつであり、様々な手法が存在します。その中でもPCRを用いた各種の方法は、自由度が高く、簡便であることから近年多用されています。

一方、PCRテクノロジーの発展は目ざましく、それぞれに特長を持った多くの種類の酵素が存在しています。これらの中から、その性質を理解した上で、自身の用途、目的に応じた最適の酵素を選択することが、実験の結果を左右すると言っても過言ではありません。

今回のセミナーでは、タカラバイオの最新のPCR酵素やClontechのIn-Fusionクローニングシステムを中心に、PCRクローニングを成功させる近道をご紹介します。

In-Fusionクローニングシステムは、1ステップの反応で、短時間に効率よくPCR断片を任意のベクターにクローニングでき、余分な配列が付加されず、しかも定方向クローニングを行うことができる優れた方法です。

タカラバイオ株式会社

東日本支店 TEL 03-3271-8553 FAX 03-3271-7282 受託窓口 TEL 077-543-6116

西日本支店 TEL 077-565-6969 FAX 077-565-6995 ウェブサイト <http://www.takara-bio.co.jp>

TaKaRaテクニカルサポートライン TEL 077-543-6116 FAX 077-543-1977